松阪社協と一緒に取り組む

令和６年度版

地域福祉教育ガイド

～地域を想い、お互いさまの心で支え合える人づくり～

小・中学校編







ボランティアさんと、地域の方と、社協スタッフと・・・
みんなで一緒に授業を作りませんか？

先生のお声をお聞かせください！



「福祉の授業を したいけど、
どこに頼めばいいか分からない」

「人権教育・キャリア教育で
参考になる授業内容はないかな」

「委員会活動や生徒会活動で
ボランティア体験させてみたい」

「忙しくて相談にいけない。
学校に来て欲しい！」

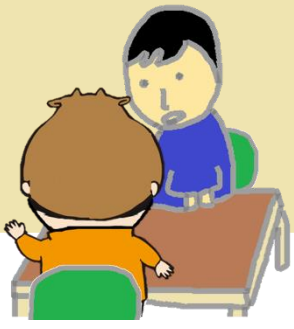
社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会



松阪社協の“地域福祉教育”を、ご紹介します！

◆松阪市社会福祉協議会について

松阪社協は、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進することを目的として、地域の方のお悩み等に寄り添う気持ちを大切に、障がい者支援、高齢者支援、市民活動やボランティア団体の支援、地域福祉活動等、幅広い社会福祉事業を展開しています。



各種相談



赤い羽根共同募金事業



みんなの居場所づくり事業

◆松阪社協の取り組む地域福祉教育

松阪社協は、これまでボランティア団体や地域の方、学校の先生と一緒に福祉教育を取組んできました。そこで、これまで取り組んできた内容を手に取って見ていただき、一歩前に進んだ福祉教育を共に実施することができたらと思い、この冊子を作成しました。

「地域と共に育む福祉教育」それを「地域福祉教育」と呼んでいます。

地域福祉教育には、共に体験し、学びを共有することによって、人そして地域を想うあたたかな心、新しい気づきやつながりが生まれることへの期待と希望が込められています。 ぜひ、お役立て下さい！



※本パンフレットの内容は、平成26年度に松阪市内全小中学校様対象のアンケート調査等の結果を一部参考にし、作成させていただいております。
※本パンフレットは、一部赤い羽根共同募金を使って作成をしております。
※本パンフレットは、松阪市社会福祉協議会HPからも閲覧・印刷可能です。



ホップ

地域福祉教育のステップ



① プログラム内容の企画

ニーズに沿った企画から
実施までのトータルな相談
※調整の上、お伺いさせていただきます。

本プログラムでは、実施内容をわかりやすく、3つのステップに分けています。
「導入」をステップ1、「実施」をステップ2、「ふりかえり」をステップ3、そして、4つ目のステップとして、実際に地域活動へ参加をする等 発展的な展開が考えられます。

ステップ1
事前学習（導入）

ステップ2
授業の実施

ステップ3
事後学習（ふりかえり）

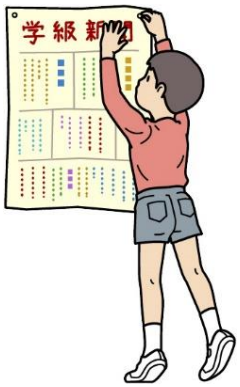
子どもたちへの学びの展開
気づきや学びを行動に…



② ニーズに沿った授業の実施

例えば・・・

・社協職員の派遣
　教育プログラムの実施 等
・ボランティアグループの調整
・地域の先輩　紹介 等





③ 次の展開へ

例：発表や活動の場の提案等

松阪社協
地域福祉教育プログラム
の紹介



松阪社協地域福祉教育プログラム①

New 「地域」を支えて下さっている方と出会い、つながろう！



【目標】『地域』を支えて下さっている方と出会い、つながる。
「地域を想うこころ」を育む。

3つのステップ	内容
ステップ1	地域の大先輩である民生委員児童委員さん、ボランティアさん方の活動を紹介いただきます。
ステップ2	民生委員児童委員さんやボランティアさんより、その活動内容や活動の中のエピソードを教えていただきます。
ステップ3	質問や交流などで学びを深め、自分たちができる福祉活動について考えます。

◆所要時間　二限分（民生委員児童委員さんやボランティアさんのお話＋交流や体験）

◆対象学年　四学年以上

民生委員児童委員さんとの交流





配食ボランティアさんの活動を学びます







絵手紙ボランティアさんと一緒に、
配食サービスボランティアさんへ絵手紙を描きました。

松阪社協地域福祉教育プログラム②
「福祉」に関する体験をしてみよう！



【目標】それぞれの立場を体験的に理解し、かかわりのヒントや他者理解等へとつなげる。

3つのステップ	内容
ステップ1	器具や道具の扱い方と注意事項など、『体験』にまつわる話をします。
ステップ2	みんなと一緒にコースをまわってみます。感じたこと、気づいたことなどを大切にしてみよう！
ステップ3	体験をした後の気づきや感想をみんなで共有します。

◆所要時間　二限分（ユニバーサルデザインの講義＋体験）

◆対象学年　全学年



～ 体験にはさまざまな種類のプログラムがあります～



車いす体験

車いす、アイマスク、高齢者疑似体験セット等は、
無料で貸出も行っています！



アイマスク体験



高齢者疑似体験



※市民活動団体 ユニバーサルデザイン『夢現』が実施する場合は、
学校から三重県ユニバーサルデザイン班へ申込書で依頼する必要があります。

松阪社協地域福祉教育プログラム②
「福祉」に関する体験をしてみよう！



【目標】ボッチャなどの障がい者スポーツやレクリエーション体験を通して、障がい者への理解を深める。

3つのステップ	内容
ステップ1	道具の扱い方、ルールや注意事項など、『障がい者スポーツ』『レクリエーション』にまつわる話をします。
ステップ2	みんなで一緒にスポーツやレクリエーションを体験します。感じたこと、気づいたことなどを大切にしてみよう！
ステップ3	体験をした後の気づきや感想をみんなで共有します。

◆所要時間　一限分

◆対象学年　全学年

◆内容　ボッチャ・ゴールボールなど　※道具の数に限りがあります。ご相談ください。







各障がい者団体さんや障がい者施設の皆さんと一緒に実施することもあります。

※障がい者スポーツを実施する場合は、状況に応じて、学校から三重県身体障害者福祉センターへ講師依頼文書を送付し、依頼する必要があります。

松阪社協地域福祉教育プログラム③



注目!!

赤い羽根共同募金を知ろう！

【目標】赤い羽根共同募金のしくみを学び、
募金が自分のまちで活用されていることを知る。

3つのステップ	内容
ステップ1	「赤い羽根共同募金」について、その成り立ちや「赤い羽根」の意味、募金期間などの説明を、わかりやすくクイズ方式で行います。
ステップ2	「じぶんのまちを良くするしくみ」について、その仕組みや募金が地元の地域でどのように活用されているかを学びます。
ステップ3	募金協力時に配布する「ありがとうメッセージ」の制作や、街頭募金や啓発イベントへ参加をする等、募金活動へのかかわりを持つ機会を作ります。

◆所要時間　一限分

◆対象学年　小学校高学年以上

学習したことを活かし、
ポスターやタスキを手作りして
“赤い羽根共同募金”の啓発に
力をいれてくれました♪





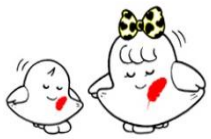








10月1日のキックオフイベントや
学校文化祭にて、
一緒に募金活動を行いました！



松阪社協地域福祉教育プログラム④
古切手を集めて途上国支援をしよう！

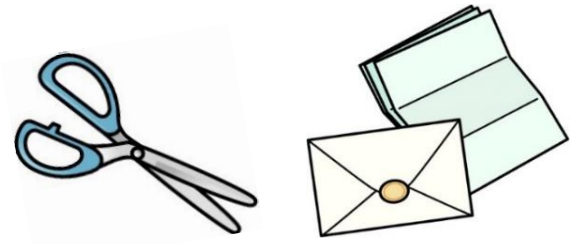


【目標】身近にできる取り組みが、
遠い国の支援につながっていることを学ぶ。

3つのステップ	内容
ステップ1	回収した古切手を整理する方法について説明し、実際に回収できるように古切手の手入れをします。
ステップ2	回収した古切手は、どのように役立てられるかについて話をします。
ステップ3	みんなが初めて知ったこと、気づいたことを聞かせていただき、ふりかえりを行います。

◆所要時間　一限分

◆対象学年　全学年





集めた古切手を手入れしている様子です。
このような取り組みが、遠い国に住む人の支援につながっているんだね！









松阪社協地域福祉教育プログラム⑤
防災・減災について知ろう！



【 目標 】防災・減災について体験的に理解し、日頃の備えにつなげる。

3つのステップ	内容	所要時間
ステップ1	地域で過去に発生した災害を知り、今自分たちに出来る備えを考えます。	15分
ステップ2	体験を通じて学習します。 ・**身近にあるもので防災グッズづくり** （新聞スリッパやビニール袋ポンチョなど） ・**防災食づくり** （ライフラインが途絶えた状態でも作れる料理体験） など。	体験内容に応じて所要時間が変わります。
ステップ3	みんなで一緒にふりかえりをして、日頃の備えについて学びます。	5分～10分

◆所要時間　参加人数や体験メニューに応じて調整をさせていただきます。

◆対象学年　全学年





みんなで協力して
作ったよ！



新聞紙でスリッパを作る
体験も行いました！





ビニール袋を使って、
蒸しパンやお米が作れるよ！



松阪社協地域福祉教育プログラム⑤
防災・減災について知ろう！



【目標】防災･減災について体験的に理解し、日頃の備えにつなげる。

○防災カルタ ～やなせたかしの『あそぼうさいカルタ』を使って～

◆所要時間　１回　１５分～２０分

◆対象学年　小学校低学年向け







○防災クイズ ～チームに分かれて○×合戦～

◆所要時間　問題数により調整をさせていただきます。

◆対象学年　小学校高学年向け







松阪社協では、さまざまな防災・減災
用具の貸出を、無料で行っています！







松阪社協地域福祉教育プログラム⑥

福祉ってなぁに？福祉の仕事について知ろう！



【目標】福祉の仕事について多角的に理解をし、
将来を考えるひとつのヒントにする。

3つのステップ	内容
ステップ1	「福祉」ってなぁに?福祉の仕事ってどんな仕事？ みんなのイメージを共有します。
ステップ2	社協の役割や、福祉の仕事について、職員のエピソードとともに紹介します。 自分の住む地域では、どんな福祉活動が行われているかを知ろう！
ステップ3	みんなの将来について、そして今から出来る『ふ・く・し』について、一緒に考え、共有しよう！

◆所要時間　一限分

◆対象学年　全学年









福祉の仕事って、どんな仕事？
みんなの疑問に答えます！



職場体験として施設での体験学習、
福祉専門職として福祉の仕事について経験や想いを伝えています



思いやりの心を育むあたたかな時間として、職場体験や福祉に従事する先輩の声を聴いてみませんか？

松阪社協の５支所（松阪支所、嬉野支所，三雲支所，飯南支所，飯高支所）では、学校から依頼をいただき、施設見学や、施設の利用者さんと一緒に作業をしたり、施設内での体験実習を行っている事例があります。

職場体験の機会として、また、思いやりの心を育むあたたかな時間として･･･ どうぞ、お気軽にお問合せください！

※各支所によって、活動状況が異なります。ご相談ください。

施設体験実習の様子





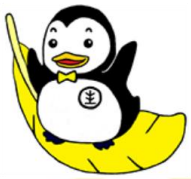
障がいを持つ方が就労に向けて取組む支援事業所で、
生徒さんが箱折り作業をしている様子だよ！



みんなで取り組む
地域福祉教育

ボランティア団体・福祉団体等と
ともに取り組む授業や、
団体のご紹介をします！





保護司会について知ろう！

【保護司ってなあに？】

保護司は、犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯すことがないよう、その立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。

保護司さんによる出前授業のご紹介



◆薬物乱用防止について
- ・薬物のリスク
- ・薬物への依存過程
- ・事例の紹介

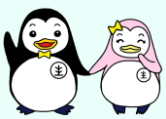
◆所要時間　45分

◆対象学年　小学校高学年

◆保護司の活動について
- ① 地域への啓発活動
- ② 個別支援

① 地域の方々に更生保護を理解していただくために、“**啓発活動**”を行っています。

② 犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人に対しての相談や見守りなど“**個別支援**”も行っています。







＜薬物乱用防止教室＞

学校に出向き、不正薬物の乱用や依存・市販薬の正しい使い方について話しました。

『松阪市保護司会」は犯罪や非行の予防と、罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪や非行のない地域社会を築くために
“社会を明るくする運動”に取り組まれています





＜街頭啓発＞
通勤通学の時間帯にパンフレットを配布しながら啓発活動を行いました。



＜地域懇談会＞
地域に出向き更生保護と不正ケシの花について話しました。



松阪保護司会についてお聞きしたいこと等ございましたら、お気軽にお問合せくださいませ！

＊お問合せ先　松阪市殿町1563　松阪更生保護サポートセンター内

TEL：(0598)21-1600　　FAX：(0598)30-5959

月曜日～金曜日　10時～16時



ボランティアセンター
や
ボランティア団体の紹介



◆ボランティアセンターの紹介

松阪社協では、松阪市ボランティアセンターを併設しています。

ボランティアセンターは、ボランティア団体の活動支援や、ボランティアを必要としている方等へのマッチング業務を行っています。



◆ボランティアセンターと地域福祉教育

地域福祉教育の一環として、授業で必要な物品等の無料貸出しや、ボランティアセンターに登録のあるボランティア団体の紹介・調整を行っています。

一部

～貸出物品の 紹介～



ボッチャ



車椅子



アイマスク

～ボランティア団体の紹介①～



★ 松阪点訳友の会



視覚障がいの方への点字の読み書き指導や、小中学校での点字講座をしています。

点字講座では、実際に自分の名前の点字しおりを作る取り組みなどを行っています。

★ユニバーサルデザイン「夢現（むげん）」



誰もが住みやすいまちづくりを目指して活動しています。

学校、会社等からの依頼を受け、ユニバーサルデザインの説明や車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験学習を行います。

★ 防災ボランティア「春告鳥（はるつげどり）」



「自分と家族の命を守るために一人一人が災害が起こる前に備えておこう」の理念で活動しています。

避難所の授業や、震災手記の朗読を取り入れた講話、「缶易（非常）トイレ」の普及など、女性の視点で活動しています。

～ボランティア団体の紹介②～



★ 音訳グループまつさか



視覚障がいの方に様々な情報を音訳しCDなどを制作して届けています。

リクエストに応じて、子どもに「音訳」することを体験してもらいながら、その役割について伝えています。

★防災・減災飯高



飯高町内を中心として、防災・減災活動に取り組んでいます。

学校での授業は、協同学習をベースとした防災教育や、卓上型の避難所運営訓練「HUG」の実施などを行っています。

★T.P.F(おりがみグループ),松阪折り紙ボランティア 「おり姫」



市内の幼稚園・保育園・高齢者や障がい者施設等の利用者を対象に、日本に古くから伝わる文化として親しまれている「折り紙」を活用して交流を図っています。



～ボランティア団体の紹介③～



★手芸あみものボランティア



共同募金やイベントへの参加協力をしています。

お祭りやイベントでバザーを行い、売り上げを寄付しています。

また、障がい者施設や学校等へ出向いて、手芸やあみものの楽しさを伝えています。

★絵手紙ボランティア「絵夢（えむ）」・「楽喜（らっきー）」

「絵夢」の活動の様子



子どもたちと交流を図るため、絵手紙ボランティア体験を中心とした活動をしています。

また、高齢者施設等へ季節の絵手紙を届けるために作品作りをしています。

「楽嬉」の活動の様子



～子どもたちが体験し、作成した作品の一部を紹介します～











松阪市内で活動しているボランティア団体については、ボランティアセンターまでお気軽にお問合せください！



松阪社協と学校の取組み



鎌田中学校コミュニティスクール×松阪社協 松阪支所
幸せのリサイクルプロジェクト 取り組み紹介

幸せのリサイクルプロジェクトとは？

大切な思い出がつまった鎌田中学校の制服等を、次に必要とするお子様へお譲りいただき、誰かを想うやさしい気持ちを大切にするリサイクルプロジェクトです。

令和２年度から、松阪市社会福祉協議会・鎌中地域交流センター・鎌田中学校コミュニティ・スクールとともに協力し、はじめた取り組みです。



R4年度は、36点の寄付があり、15点を譲渡、
R5年度は、17点の寄付があり、28点を譲渡したよ！

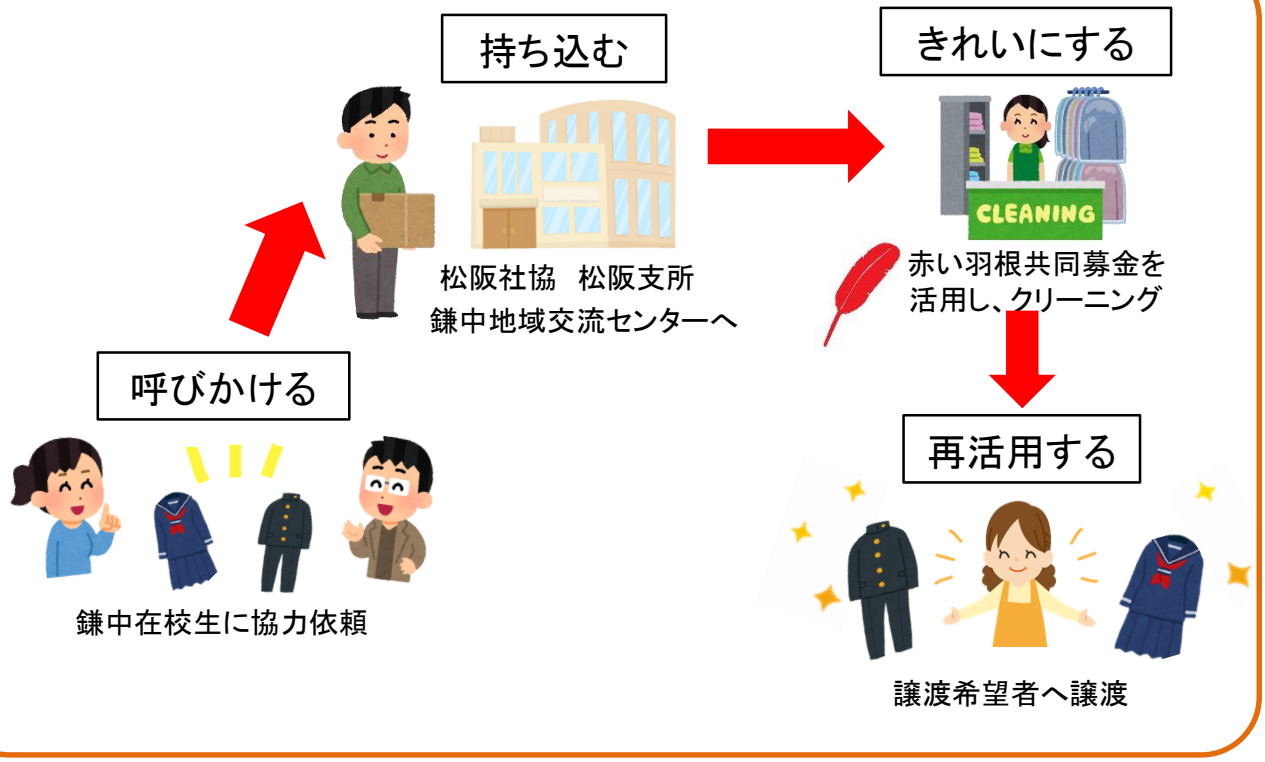
どのような仕組み？

令和５年度は、卒業シーズンの３月に譲渡希望者を募り、譲渡を行いました。
制服等の募集は、鎌中校区の在校生の皆様の協力を頂きました。



R3年度から、鎌中 新1年生の制服は新しくなったので、在校生へ譲渡希望者を募ったよ！

鎌田校区で実施した際の流れ



幸せのリサイクルプロジェクト 取り組み紹介



あかねちゃん

ねぇねぇ、ふっき～♪鎌中校区で制服等の譲渡をしたご家庭から、
『ありがとうのメッセージ』を預かっているよ！

そうだね！ご紹介しよう♪



ふっきー

冬の制服の上着がなく困っていたところいただける場所があると聞き電話しました。本当に助かりました。

サイズも希望のものがあり、子どもの替えに助かります。大切に使わせて頂きます。ありがとうございました!!

制服をゆずってくださりありがとうございました。
転校してきたばかりでドキドキですがこの制服を着せてもらい楽しい中学校生活を送らせてもらえたらなと思っています♪

転入してきて制服がなく、ゆずっていただきありがとうございました。





こんな風に、想いがつながって、
また制服が活躍してくれると思うと、嬉しいね！



それからね、ふっき～♪
他校ではどんな取り組みをしているか、聞いてみたよ！
例えば、PTAが中心になって取り組みを進め、文化祭のバザー等でお譲りをしているそうだよ！

そうなんだね！学校・PTA、社協も協力して、一緒に取り組めるといいね♪





みんなで物を大切に、
誰かを思う気持ちを大切にして、
つながっていこう！

お問い合わせ　松阪市社会福祉協議会 松阪支所　☎0598-30-5210

＊松阪社協プロジェクト紹介＊

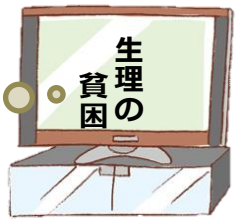
みんなで支えるプロジェクト
ここから始まりました！！

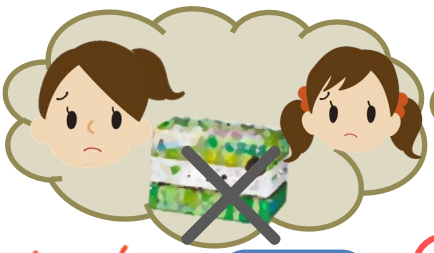


ひらめき大変身！！

想いがつながり
「ありがとう」の
笑顔になる☆の巻

ある日テレビを観ていたら・・・





生理用品を買えない子どもたちがいます・・・

えっ！！そんなことがあるの！

①



②





年金が入ったから社協に寄附しよう！

注1)

③

「みんなで支えるプロジェクト」として ご寄附いただいた生理用品は・・・

★市内小中学校へ…

生理用品の受け取りを通じて、生活上の困りごとの相談や身体や心の相談のきっかけとしてもらうこともできました。





トイレや保健室に配置されました





④

★あったかごはんプロジェクト…

歳末期の生活応援として食料品などと一緒に配布しました.





注2)

⑤

みんなで支えるプロジェクト

ひとりのひらめきや想いがみんなで支えるしくみとなり誰かの「ありがとう」の笑顔につながります



⑥

注1）市民の皆さんから、食料品（お米・レトルト食品など）や衣料品など、さまざまな品物をご寄附をいただきます。
社協では, 市民の皆さまの想いを届けるしくみづくりをしています。

注2）歳末期の生活応援のしくみとして『あったかごはんプロジェクト』を実施しています。

みんなで支えるプロジェクトってなあに？？



みんなで支えるプロジェクトとは？

誰かの困りごとを見つけたら、みんなで支え、想いをつないで、福祉課題の解決を支援するためのしくみづくりです。

支える人と支えられるひとをつなぐプロジェクトは、支えられる人が支える人にもなれるしくみづくりを目指しています。

今後の活動は？

・各団体と連携して取り組む**包括的な支援体制づくり。**

・生活上の困りごとや悩みごとの**相談機関の周知。**

・小中学校での**福祉教育・ジェンダー教育の充実。**
（福祉の当事者・支え手であることの意識づくり）

・継続のための財源確保のしくみづくり。



生理用品を「あたりまえに」使える・困った時にいつでも頼れるところがある環境をつくることを目的にし、みんなでその活動を支えようという思いから
“「生理用品をあたりまえに」をみんなで支えるプロジェクト”としました。

今回の困りごとは、「生理用品の貧困」でしたが、人生においては、さまざまな場面で、急な困難にみまわれることがあります。そして、ひとりの困りごとは他の人の困りごとになる可能性があります。

また、今回の事例のように少し生活に余裕ができてきたので誰かの役に立つことをしたいけど、どのような方法があるか知りたいと思われている方があります。

社会福祉協議会には、このような方々の想いをつなぐことやしくみづくりの提案、お手伝いをする職員を配置しています。誰かの困りごとを見つけたり、こんなことをしてみたいけど誰かの協力がほしいなという想いを社会福祉協議会に届けてくださいね。





保健室の先生
担任の先生



専門の相談窓口や市



お問い合わせ
松阪市社会福祉協議会
まちづくり課 TEL 23-2941

松阪支所　TEL 30-5210
嬉野支所　TEL 42-2718
三雲支所　TEL 56-7247
飯南支所　TEL 32-4630
飯高支所　TEL 45-1125

松阪市社会福祉協議会の事業所一覧

本　所

〒515-0073
松阪市殿町1563
TEL:0598-23-2941
FAX:0598-23-3359

（本所内　ボランティアセンター）
TEL:0598-23-2941
FAX:0598-30-5692

松阪支所

〒515-0005
松阪市鎌田町213-1
TEL:0598-30-5210
FAX:0598-30-5564

嬉野支所

〒515-2323
松阪市嬉野権現前町423-9
TEL:0598-42-2718
FAX:0598-42-6481

三雲支所

〒515-2112
松阪市曽原町2678
TEL:0598-56-7247
FAX:0598-56-6837

飯南支所

〒515-1302
松阪市飯南町横野885
TEL:0598-32-4630
FAX:0598-32-4634

飯高支所

〒515-1612
松阪市飯高町富永72-1
TEL:0598-45-1125
FAX:0598-45-1139

松阪社協共通

E-mail：info@matsusakawel.com
ホームページ：http://matsusakawel.com/

